武　一　中

令和７年３月３日
武蔵野市立第一中学校
学校だより R6－24 号

URL:https://dai1-jh.musashino-city.ed.jp/

一瞬のために努力する

校　長　　中嶋　建一郎

陸上競技の 100m 走の世界記録は、ウサイン・ボルト選手が 2009 年に出した 9 秒 58 です。おそらく、この記録を出すために何年も日々練習を続けていたことが想像できます。人はどうして、このたった 10 秒に満たない記録のために膨大な時間を費やせるのでしょうか。

皆さんの中にも部活動などで優勝や金賞を目指して日々努力を続けている人がいます。その人達の中には、世界記録を目指す人の気持ちを理解できる人がいるかもしれません。

2 週間後に迫った合唱コンクールにも似ているところがあります。本番は、課題曲・自由曲合わせても 8 分くらいでしょう。その 8 分のために練習を積み重ねます。先週の木曜日から練習が始まりました。今週は練習に一層熱が入ることでしょう。毎日、昼休みや放課後に練習場所が割り当てられています。前日の 12 日までの限られた時間です。どんな練習をするのかは、皆さんにかかっています。

でも、どうして一生懸命になれるのでしょうか。私はこう考えています。努力を続けたその先に確かな手ごたえがあると想像できるから、これまで味わったことがない感動を手にいれられるからではないかと考えています。

皆さんは、感動体験を体育祭で味わっています。悔しい思いをした人もいたかもしれませんが、それを超える感動があったはずです。私は、その感動体験を合唱コンクールでも同じように味わってほしいと思っています。体育祭の時もそうでしたが、感動体験は優勝したクラスだけでなく、努力したクラス全部にあったはずです。

注意もしておきます。私の経験では、そう簡単にことは運びません。自分一人で物事を進める場合でも、「よーし、頑張るぞ！」という時や、「なんかやる気が出ない」という時があります。合唱は一人ではなくクラス全員で練習するのですから、難しいわけです。「感動体験をしたい」という思いはあるけれど、行動が伴わない。様々な不満が出ることもあります。「どうしたら良いのだろう」と悩み壁にぶつかる時もあるかもしれません。でも、そんな状況を乗り越えた先にこそ、ひと際大きな感動があることも知っておいてください。

さて、私が担任をしていた頃の合唱のリーダーが行っていたことを紹介します。ひとつは、場所を変えて校庭で歌うことで気分転換を兼ねた練習を取り入れていたことです。もうひとつは、体育祭で同じ団だった他学年のクラスの合唱を聞いたり、聞いてもらったりして意欲を高めていたことです。参考にしてください。

合唱コンクール当日に皆さんが感動体験を味わえることを願っています。

※今回の学校だよりの感想や意見を書ける人はフォームに書いてください。